

第3回地方創生推進委員会協議録

1. 日時:平成27年10月26日(月)13:30~15:00
2. 場所:串木野庁舎 地下大会議室
3. 出席者:石田委員長 前原委員 小園委員(春田委員の代理) 小重委員(尾野委員の代理)
川崎委員 赤岩委員 早崎委員 福岩委員 川田委員 榎木委員(久木山委員の代理)
塚田委員 松元委員 濱寄委員 平尾委員 住廣委員 東委員 中屋委員
事務局(田中政策課長 出水政策課長補佐 勝田主任 橋之口主任 西ノ園主事)
鹿児島経済研究所(上加世田参事役 下笠主任研究員)

- 石田委員長 協議に入る。
本日の協議は、『(1)パブリックコメント等の結果について』である。
- 出水補佐 『(1)パブリックコメント等の結果について』説明。
- 石田委員長 ただ今説明があつたが、委員の方から意見・質問等ないか。
1番の人口ビジョンについてまず意見はないか。
- 委員 基幹産業の定義はなにか。
- 田中課長 製造業の中でも、食品加工業・飲料が基幹産業の一つで、同時に水産業や農業も基幹産業であると思っている。
- 出水補佐 総合戦略の5ページにあるグラフの稼ぐ力のある産業として漁業、雇用吸収力の高い産業として食品製造業があり、そのうえで人口ビジョンの方では稼ぐ力もあり、雇用も多いことに着目して基幹産業の一つである製造業という表現をさせてもらったところである。
- 委員 基幹産業の説明がないと思う。稼ぐ力に着目するなどして、基幹産業ということであれば理解できる。
- 出水補佐 表現については、再度見直し整理する。
- 石田委員長 基幹産業というものだけでは、わかりにくいというご意見ということであつたが、事務局で文言の整理をするということをお願いしたい。

- 石田委員長 人口ビジョンについては他にないか。
次に 2 番の総合戦略の浜西住宅と併せて森木住宅の追加についてはどうか。
- 田中課長 これについては、都市計画課からも同様の意見が出ているということで報告する。
- 石田委員長 詳しく追記されたということのようである。
次に 3 番の連携中枢都市の関係に意見があるか。事務局案では、協約締結という括弧書きが追記されたということのようである。
- 田中課長 この件については、政策課の担当で、平成 28 年度で事業が終わるのかという指摘で、平成 28 年度までに行う部分として協約締結という目標を示すということである。
- 石田委員長 次に 4 番の総合戦略の 27 ページの「安心・安全なまちづくり」で防犯・防災がないのはどうしてかというもので、人口減少対策を重点的に進めていくものであるからというものである。委員から意見はないか。
- 田中課長 産業活性化や福祉の充実などを含めた総合計画というものがあり、その中では、防犯・防災といったものも出てくる。総合戦略については、盛り込む必要はないのではないかというところである。
- 石田委員長 特に意見ないようですので、次に 5 番の KPI の中で交流サロンの設置数をころばん体操の実施公民館へ変更してはどうかというものである。委員から意見はないか。
- 委員 ころばん体操は、簡単で普及しやすいが、簡単すぎて飽きが来るという話を聞くと、人が来なくなる可能性があるため、指導者の育成や内容の工夫があった方がいいと思う。
- 田中課長 これについては、できるだけ活動を増やしていきたいという趣旨で変更が出されたものだと思っている。50 公民館というのは市でいうと 3 分の 1 程度の数であるので、やる過程で工夫をしないと 50 にいかないということで担当課でも内容や指導者について考えながら事業を進めていくものと思われる。
- 石田委員長 次に 6 番の意見について、事業推進や実行したあとの検証に参考にしていきたいという事務局の回答であるが、委員の方から何か意見があるか。

- 委員 意見の中で「人が来なくなるまち」は、観光。「住みなくなるまち」は、定住促進。転入者や空き家や子育て支援がすべて含まれていると思う。「働きなくなる取り組み」は産業や農業をしたいという方への支援ということで、ひとつひとつ広げて掘り下げていき、解決策が見つかるといいと思う。
- 石田委員長 よくまとめられている意見だと思う。他に、意見はないか。
- 委員 市来農芸高校について書かれている部分で、高水という言葉が出てくるが、高水準と読み替えていいか。
- 出水補佐 高水準である。修正をしておく。
- 石田委員長 この意見については、進めていった方がいいと思うか。
- 委員 大切なことだと思う。
- 石田委員長 ほかに意見ないか。
- 委員 串木野高校の斬新な変革とあるが、生徒が少ないということで、このように書くのではなく、特色を一つ絞って3年間で英検1級を取るとか、そういう特色を持った高校にすれば集まるのではないかと思うが、つくれないものか。
- 石田委員長 提言ということで承りたいと思う。ほかに何かないか。
- 委員 若年の子供たちがどのような教育を受けたいのか見えにくい。目標を持った子供は自ら行動するからいいのだが、疎い子供は自分たちの目標をどうしていいかというのが見えてない。また、携帯の友達が多いが信じられる友達は少ないということもあり、大人が思うことと子供たちが求めていることとに開きがあると感じている。そういうものを教育の場に活かせれば、この高校は面白いと変わっていくと思う。興味を持てるものが欲しいと感じる。農業に従事する子供が、自営に入る子供が少ないので、農業への魅力がなくなっていると感じる。TPPで農業政策は岐路に来ているが、法人化して大規模に学校で勉強するような仕事がないか。またそのような企業がないか。そのようなものを流す流通がないか。そのような結びつきのある学校教育があれば、若い世代は興味を持つと思う。

- 石田委員長 いろいろな形でかかわっていくことも大事であろうし、地域が子供を育てるということもありますので、様々な形の教育の場があると思う。他に委員の方から何かないか。
- 委員 10年後空き家になるだろうという家があるが、放置するのか、何かに利用するのかなど、市としてこのように活用しようというものを考えているか。
- 田中課長 空き家については、9月補正で生活環境課が現況調査をしている。その後の利用促進については、政策課で対策を考えていこうとしているところである。
- 出水補佐 空き家の関係で補足をする、現在の制度としては、解体の補助金がある。空き家の実態調査をしており、来年度以降活用できるものをどのように活用していくか検討していく。一方で空き家に対するローンの商品を検討してもらっているので、市の補助と合わせて具体的に制度化していきたい。
- 石田委員長 総合戦略の24ページにある「空き家の有効活用」ということで、実態調査、活用策空き家バンク制度、リフォーム等の支援以外にも金融機関との連携など考えてくということである。他に意見はないか。なければ、「人口ビジョン(案)」「総合戦略(案)」の最終案ということで了承をもらい、本部会議にて審議の上決定する。次に、「3 その他」について委員から何かないか。
- 委員 今後の進め方についてはどうか。また、それぞれの事業の予算と、補助金の額は有限であると思うが、やりたい事業が予算や補助金の額を超えた場合どうするのか。どれかを優先的にするのか、それぞれまんべんなく進んでいくのか。
- 田中課長 この総合戦略等を10月30日にまとめ、予算の作業が11月以降あるが、その中で総合戦略を重点的に進めるようお願いする。交付金についても、国の部分も含めて財源が不明瞭な部分があるため、予算を組むときにどの部分ができるのか、効果的にできるのか考え、早くスタートしなければならないことからやっていくものであると考える。
- 石田委員長 既存のものとの兼ね合いや交付金の不明瞭な点も考えながら、進めていくということである。
- 委員 5年計画ということであるが、すべてのものをやるのか。やらないものもでるのか。

石田委員長 すべてやるものであると考えている。完璧にできる場合やそれを超える場合もあるだろうが、できない部分も出てくると思う。PDCA サイクルで 5 年だけでなく続いていくものと考えている。他にないか。

委員 ずっと何回か来て話を聞いてきたが、目玉になるものは何と考えているか。

田中課長 総合戦略の 11 ページにある「食のまちづくり」や「環境維新のまちづくり」ということを掲げている。製造の 8 割が食品等であるということと、環境エネルギーということをいわれており、この部分で雇用等創出できないかというようなことでこの 2 本立てになっている。

石田委員長 他になければ、事務局からあるか。

出水補佐 まず 1 点目として、10 月 30 日の本部会議にて審議の上、人口ビジョン及び総合戦略を決定したいと考えている。決定後、ホームページへの公表と、両冊子について、12 月議会において市議会へ配布するとともに、委員の方へも送付する。2 点目として、委員会の今後だが、両案の策定については本日までとなる。委員の方には、5 年という中で効果検証、戦略の見直し等、必要に応じて検討していく際、協力をもらうことになる。

石田委員長 事務局からあったように、人口ビジョン・総合戦略の策定については、本委員会は最終となる。計 3 回にわたり、地方創生に関して貴重な意見・助言をもらい、ありがとうございました。策定は、今回で終了となるが、戦略を実行に移し、それを検証改善しながら進めることが重要ある。戦略の見直し等の話もあったが、その機会に限らず、本市の活性化について、引き続き意見・助言をもらえれば、ありがたいと思うので、よろしく願いたい。以上をもって、本日の会議を終了する。